

Music is beyond the sea

SeToJo meets Naomi Tsuda

良い映画に出会うと、とても優しい気持ちになり、誰かに良い事をしたくなります。映画は、人の良心を呼び覚ますチカラがあり、活力を与えて、あなたの人生を変えるチャンスになるかも知れません。その一翼を担っているのが、映画音楽です。今回、「SETOJO」の素敵な演奏と共に、とっておきの映画裏話や、思い出に残るシーン、俳優さんのマル秘エピソード等もご紹介しながら紡いでいきます。



津田ナオミ Naomi Tsuda (映画パーソナリティフリーアナウンサー)

兵庫県宝塚市出身。愛知淑徳大学 大学院文化創造研究科修士課程修了。

22歳の時に大阪府堺市の親善大使「エンジェル堺」に選ばれタレント活動をスタートし、テレビ・ラジオ・イベントなどの司会やリポーターを務める。その後、映画番組の司会を担当し、映画の世界へ。現在、映画キャンペーンでの監督や俳優の記者会見・舞台挨拶の司会、映画に関する講演、コラムの執筆などで活動中。神戸新聞「銀幕シネマ」コラム執筆・ベイ・コミュニケーションズ「サンサンシネマナビ」出演。神戸100年映画祭理事大阪シネマフェスティバル投票委員 神戸新聞文化センター「シネマ鑑賞講座」講師。2018年著書『映画監督・田中絹代』出版等多方面で活躍中。

瀬戸内 Jazz 女子部

SETOJO

中村 尚美 Naomi Nakamura (Contrabass)

岡山県出身。金光学園中学校・高等学校、大学で吹奏楽部に所属し、コントラバスを担当。大学3年生から、ジャズベースを「上山崎初美」氏に師事。関西を中心に全国で展開。共演者は北村英治、ピエール・バルー、ジモースミス、小曾根真、谷川賢作、パトリックヌジェ、多田誠司、金子晴美、中西俊博他多数。2010年、ドイツ最古のインディーズレーベル“TRIKONT”にその実力を認められ、ジャンゴラインハルト生誕百年を記念して作られたトリビュートアルバム“ZaZa avec Café Manouche”で参加。海外からも注目を浴びる。また人形浄瑠璃・講談とのコラボ劇「エディットピアフ物語」でも好評を博す。



菅 涼子 Ryoko Kan (fl.vo)

愛媛県伊予三島市出身。3歳でピアノを始め、11歳でフルートと声楽を始める。フルートでは四国内外のコンクールで数々の賞を受賞。音楽大学に進学。現在フルート講師、シンガーとして活動。ヴォイストレーニング、ミュージカル歌唱指導等も行っている。また、数々のCMソング、ミュージカル劇中歌作曲、番組テーマ曲等の制作、演奏も手がけ、高松の街を歌った『まちうた』(作曲、編曲、演奏)は好評を得、JR四国バス長距離区間での使用もされた。ピアノ、ヴォーカル/フルートユニット、mirekanでは、各イベントや各地での演奏活動に加え、三枚のアルバムを発表。



梅田 玲奈 Rena Umeda (pf)

高松市生まれ。津田塾大学英文学専攻科進学と同時に、ジャズ・作曲理論を中川卓也氏に師事。卒業後、パークリー音楽大学でジャズコンポジションを専攻、ディプロマを取得し卒業。帰国後は高松を拠点にジャズピアニストとして活動を始動。県内外のミュージシャンと共演する他、ソリストとしても活動。また近年はCDやイベントの楽曲アレンジや映画音楽制作にも関わり、活動の場を広げている。ラテン、ロック、ファンクなどさまざまなジャンルの音楽を取り入れ、ジャズの枠を超えた音楽世界を創造している。現在、中四国・東京を中心に演奏活動中。



Special Guest

Tango Grelio (タンゴ・グレリオ)

星野俊路(バンドネオン)、米阪隆広(ギター)によって2010年に結成された、日本では珍しい編成のアコースティック・デュオ。

「グレリオ」という名は、ロベルト・グレラとウバルド・デ・リオという2人のタンゴギターの名匠の名にちなんでおり、ギターを活かしたタンゴを追求している事を表している。古典タンゴをベースとしたノスタルジックで下町情緒あふれるサウンドに定評があり、関西を本拠地に各地でアルゼンチンタンゴの魅力伝えるべく各地で活動中。

2013年1stCD「DESDE EL ALMA～心の底から」、

2016年2ndCD「EPOCA PIAZZOLLANA～ピアソラの時代」をリリース。

